

広報

きたはりま

119

<http://www.kitaharima119.net>

災害のない明るいまちづくり

vol. **12**

2018 SPRING
北はりま消防組合

- ・平成28年度決算状況
- ・新庁舎完成
- ・平成29年火災・救急・救助の概要
- ・あぜ焼きによる火災が多発!!
- ・119ワイド
- ・救急車の適正利用を!
- ・家庭の防火対策を!
- ・新任職員紹介

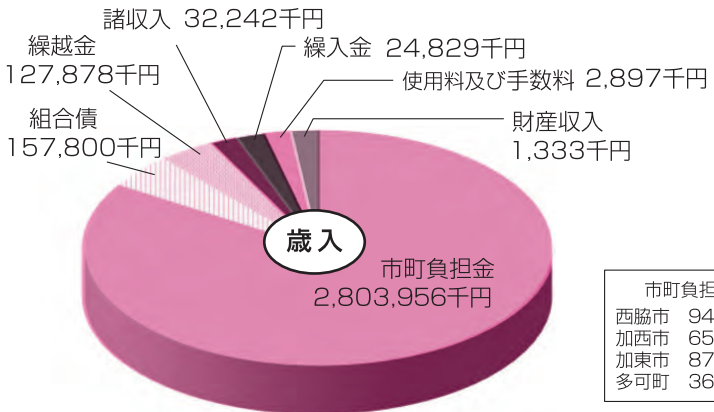


平成30年春季全国火災予防運動
3月1日(木)～3月7日(水)

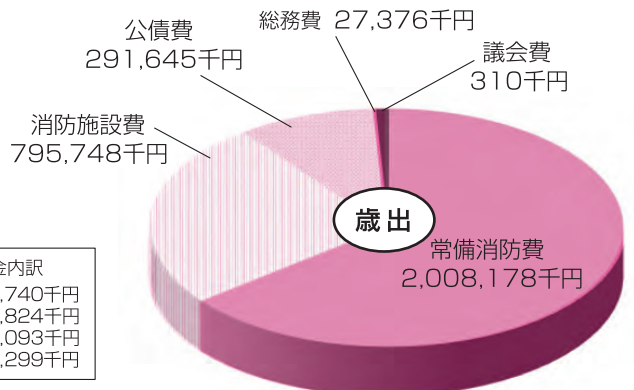
..... 全国統一防火標語
『火の用心 ことばを形に 習慣に』

平成28年度 決算概要

北はりま消防組一般会計の決算状況は、歳入総額が3,150,935千円、歳出総額が3,123,257千円で、歳入歳出差引額は、27,678千円となっております。



西脇市	949,740千円
加西市	651,824千円
加東市	873,093千円
多可町	365,299千円



歳入 歳入決算額 3,150,935千円

款	内容	金額
市町負担金	組合を構成する市町からの負担金	2,803,956千円
使用料及び手数料	消防検査等の手数料	2,897千円
財産収入	基金の運用利子及び財産の売払収入	1,333千円
繰入金	財政調整基金からの資金運用	24,829千円
繰越金	前年度の繰越金	127,878千円
諸収入	その他の収入	32,242千円
組合債	消防施設整備のための借入金	157,800千円

歳出 歳出決算額 3,123,257千円

款(目)	内容	金額
議会費	組合議会の運営活動費用	310千円
総務費	組合全体の事務管理費用	27,376千円
消防費(常備消防費)	消防業務に係る費用(人件費含む)	2,008,178千円
消防費(消防施設費)	消防施設の整備費用	795,748千円
公債費	借入金の返済費用	291,645千円

新庁舎完成

平成28年度から進めておりました西脇消防署及び加東消防署の庁舎建設工事が3月末日に完了します。

これを機に、北はりま消防本部(総務課・企画財政課・予防課・警防課・救急課)は、西脇消防署内に移転し業務を行います。

119番通報を受信し出動指令を発する情報管理課は今までどおり、旧加東市役所滝野庁舎で業務を行います。

また、加東消防署も新庁舎に移転し、それぞれ地域住民の安全安心を守るために努めてまいります。



▲北はりま消防本部・西脇消防署



▲加東消防署



北はりま消防本部・西脇消防署

【新住所】西脇市野村町1796-502

総務課: ☎0795(27)8119 企画財政課: ☎0795(27)8121
 予防課: ☎0795(27)8122 救急課: ☎0795(27)8125
 警防課: ☎0795(27)8123 F A X: ☎0795(27)8124
 ※西脇消防署については、電話番号・FAXの変更はありません。

加東消防署【新住所】加東市上中778-52

電話番号: ☎0795(42)0119 FAX: ☎0795(42)6406

消防車・救急車の要請は局番なしの119番!

緊急時は、局番なしの「119番」でお願いします。

最寄りの消防署へ消防車・救急車の要請をしても、災害出動等で消防署が不在の場合があり、消防車や救急車の出動が遅れる原因になります。

通報の際は、あわてず落ち着いて、指令員の質問に教えてください。

* 病院照会や相談等は最寄りの消防署へ連絡して下さい。



- ◆西脇消防署 0795-22-0119
- ◆加西消防署 0790-42-0119
- ◆加東消防署 0795-42-0119
- ◆多可消防署 0795-32-0119

消防テレホンサービス

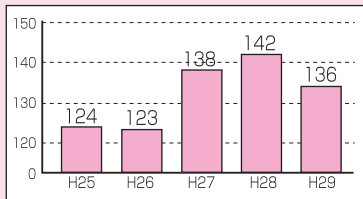
【病院案内利用時間】

平日/17:30~翌朝8:30 土曜日・日曜日・祝日/9:00~翌朝8:30
 ※医療機関を受診する際は、行かれる前に必ず医療機関へ電話確認をお願いします。

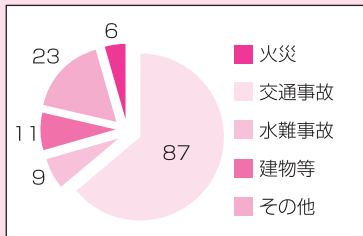
- ◆災害案内 0795-48-0143
- ◆病院案内 0795-48-0147

平成29年 火災・救急・救助の概要

救助出動件数136件（6件減少）
（西脇市44件、加西市36件、加東市38件、多可町15件、中国道3件）
救助種別は火災6件、交通事故87件、水難事故9件、建物等11件、その他が23件となっています。
依然として交通事故の出動が半数以上を占めています。



救助件数の推移



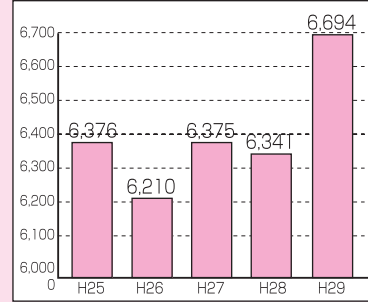
出動種別出動件数

救助 依然として交通事故が出動の半数を占めています。

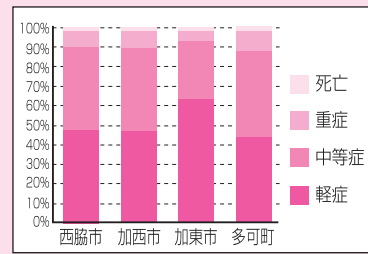
救急出動件数6,694件（353件増加）
（西脇市1,988件、加西市1,901件、加東市1,845件、多可町910件、中国道42件、管外8件）

搬送人員は6,366人で半数以上の3,269人が軽症で当日帰宅となっています。

早目に医療機関を受診し重症化を防ぐことで、救急車利用の適正化が図れます。



救急件数の推移



市町別程度別搬送率（中国道、管外を除く）

救急 軽症者の搬送が半数以上と際立っています。

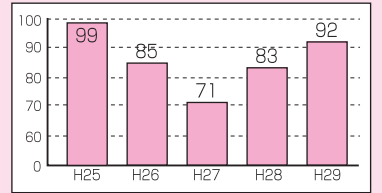
火災発生件数92件（9件増加）と3年連続で増加しています。

（西脇市23件、加西市35件、加東市28件、多可町6件）

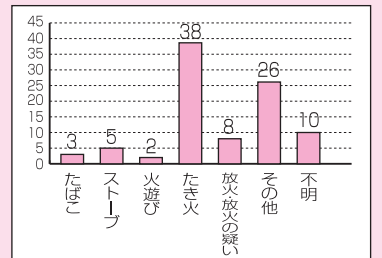
火災種別では建物火災29件、林野火災16件、車両火災13件、その他の火災が34件発生しました。

前年比較は建物火災3件減少、林野火災7件増加、車両火災は4件増加、その他の火災が1件増加しました。

出火原因別では、たき火38件、放火・放火の疑い8件、ストーブ5件、たばこ3件となっており、北はりま管内の特徴としては、あぜ焼き（たき火）が原因の火災が大変多くなっています。



火災件数の推移



原因別火災件数

火災 「あぜ焼き」からの火災が多発しています。

注意!

火災原因の大半があぜ焼き!

北はりま消防組合の平成29年中の火災件数は92件で、うちあぜ焼き（たき火）が原因の火災件数が38件と約40%を占めており、特に、これからの時期（3月～6月）に多発しています。

あぜ焼きなどの焼却火による火災は、一人ひとりの火の取扱いに対する『ちょっとした不注意』が原因となっています。あぜ焼きなどをされる場合は、風の状態や周囲の状況などに十分注意しましょう。



あぜ焼・草焼きの注意事項!

●風の強い日は避ける!

突然の風などで飛び火したり、火が大きくなり燃え広がる危険性があります。風が強くなったら直ちに作業をやめましょう。



●山林や住宅の近くでは行わない!

大きな火災へとつながるおそれがあるため、山林や住宅などの、燃え移る可能性のあるものの近くでは、行わないようにしましょう。



●一度にまとめて燃やさない!

一度燃え広がると、簡単に消すことはできません。焼却は、少しずつ分けて行いましょう。



●消火準備をしてから行う!

水バケツなど、消火の準備をしてから火入れを行い、完全に消火するまでその場を離れないようにしましょう。



野焼きは原則禁止されています!

ただし、農作業に伴う枯草焼却、風俗習慣上などの行為のための焼却は、例外として認められています。





警防技術訓練 (西脇署)

12月6日(水)に、西脇市下戸田の旧カーナの建物を使用して警防技術訓練を実施しました。訓練では西脇消防署と西脇北出張所の連携を確認することができ、大変有意義なものでした。



園児からのプレゼント (西脇署)



11月29日(水)に、しばざくら幼稚園の園児から勤労感謝の絵のプレゼントをいただきました。



自衛消防競技大会 (西脇署・多可署)

9月4日(月)に、西脇市上比延町のへそ公園駐車場で自衛消防大会を開催しました。西脇市と多可町内の34事業所108名が参加し、消火器などを使用して消火作業の速さを競いました。



警防技術訓練 (加東署)

12月7日(木)、8日(金)に、加東消防署において警防技術訓練を行いました。発煙筒及びスモークマシンを使用し、実災害に近い視界不良の環境下で検索救助活動を行いました。



耐熱耐煙訓練 (加東署)

12月25日(月)、26日(火)に、兵庫県消防学校において耐熱耐煙室を使用した実災害に近い状況での検索救助訓練を行いました。



集団災害訓練 (加東署)

10月10日(火)、11日(水)に、北はりま消防本部警防部及び情報管理課と合同で集団災害を想定した訓練を行いました。

分娩介助訓練 (多可署)



近年、北はりま消防組合において、妊婦・出産に関連する救急出動が増えています。救急隊員の知識・技術向上を目的に、市立西脇病院の助産師を講師に招き、訓練を行いました。

多可町消防団との合同訓練 (多可署)



林野火災が発生したとの想定で訓練を実施し、多可町消防団と多可消防署が連携し、消火活動を行いました。

2018

兵庫県消防防災航空隊との連携訓練 (多可署)



多可町の山中にある神社を参拝中に傷病者が発生したとの想定で、訓練を実施しました。防災ヘリによって救助した傷病者を救急隊に引継ぎました。訓練後には、杉原谷小学校の生徒が防災ヘリを見学しました。

BFC体験教室 (加西署)



7月27日(木)に、加西市内の少年消防クラブ員が消防訓練及び救助訓練等の体験を行いました。

市街地合同訓練 (加西署)



11月5日(日)に、市立加西病院において消防団と合同訓練を行いました。

北条高校ロープワーク研修 (加西署)



9月27日(水)、10月4日(水)の2日間、北条高校の生徒28名が消防署に訪れ、ロープワーク体験研修を行いました。



その119番
本当に緊急ですか？



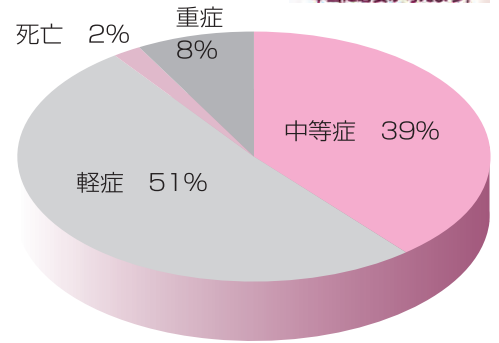
『適正利用 守ってつなぐ命のバトン』



平成29年の傷病程度別救急搬送状況

(単位：人)

市町	西脇市	加西市	加東市	多可町	管 外 中国道	合 計
死 亡	34	36	36	20	1	127
重 症	154	157	91	91	2	495
中等症	801	772	513	387	2	2,475
軽 症 (その他1件を含む)	907	854	1,124	378	6	3,269
合 計	1,896	1,819	1,764	876	11	6,366



平成29年中の搬送人員は6,366人で、そのうち半数以上(51%)は軽症で当日帰宅となっています。

軽症者の搬送率は、西脇市で47.8%(前年:49.5%)、加西市で46.9%(前年:46.6%)、加東市で63.7%(前年:63.0%)、多可町で43.1%(前年:51.4%)となっております。

救急車を呼ぶ前に考えよう



(単位：人)

	平成29年	平成28年	増 減
新生児	7	8	▲1
乳幼児	346	318	28
小 児	284	306	▲22
成 人	1,818	1,769	49
高齢者	3,911	3,627	284
合 計	6,366	6,028	338

平成29年中の年齢区分別搬送状況において、65歳以上の高齢者の搬送人員が前年と比較して284人増加しており、総搬送人員の61.4%を占めています。

適正利用



正しい救急車の使い方を学ぼう

早めに医療機関を受診し重症化を防ぐことで、救急車利用の適正化が図られます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

救急隊員手記「救急活動における安全管理」

T・T救急隊員

現場は時・人・場所を選ぶことなく突然発生し、二つとして同じ現場はなく、常に最善の安全管理を念頭に置いて活動しなければなりません。しかし、目の前で起きている災害に対し、安全が確実に確保されていないまま活動せざるを得ない状況があるのも現実です。

そんなある日、危険と隣り合わせとなった現場に出動しました。

「〇〇町 〇〇店にて加害事件発生 お客が口論となりビール瓶で首を切られ出血し、現在も喧嘩は続いている。」という通報を受け、救急隊2隊で同時出動しました。

現場到着すると、店内が荒れているという状況は直ぐに分かり、怒号が飛び交い、すりガラスのため店内の詳細な状況は分からず、中に入って確認しなければなりません。

扉を開けると、男性2名がもみ合い女性が仲裁している状況で、椅子は転倒、食器やビンが飛散し、床に無数の血液が落ちており、喧嘩の激しさを物語っていました。

傷病者の観察もままならない状況の中、先着隊の私達は仲介に回るとともに、状況把握に努めようとしましたが、一向に当事者の興奮が収まらず、救急隊員にも危険が及ぶような状況で、「自分自身もビンで殴られるのでは、店の包丁で刺されるのでは」とかなり恐怖を感じながら活動したことを鮮明に覚えています。

救急要請の中には危険と隣り合わせの現場も多々あり、指令内容により普段以上に自身の安全管理を行う必要がありますが、今回の事案では防刃ベストなどの万一に備えた準備ができていなかった点を深く反省しました。

傷病者を観察及び処置し、適切な病院に搬送することが救急隊の任務ですが、その任務遂行にあたり、どのような事案であっても二次災害は絶対にあってはならないことであり、個人装備や積載資器材を有効活用し、自身の安全管理を徹底する必要がありますと再認識しました。

身近な家庭の防火対策！

火災から身を守る 防災製品の使用を！



防火に勝る
消火なし！

全国で住宅火災による死者数は、毎年1,000人前後で、このうち約7割が65歳以上の高齢者です。

住宅火災による死者は、逃げ遅れや着衣着火によるものが多いことから、火災の際に着火物となりやすいものを燃えにくい防災製品とすることが効果的な対策です。

特に、避難に時間を要する高齢者は、防災製品を使用することで、火災による被害の抑制や避難のための貴重な時間的余裕をつくることのできるだけでなく、着衣着火などの逃げ切れない火災による死者の発生を低減する効果が期待されます。

家庭を火災から守るためにも、住宅用火災警報器の設置と合わせて、防災製品を活用しましょう。



一定の防災性能を有している製品には、このようなラベルが貼付されています。

※防災製品には、エプロン、寝具類、カーテンなどの製品があります。

すべての家庭に 住宅用火災警報器を！

取り付けはあなたの義務です！



新任職員 紹介

平成29年4月1日付で北はりま消防組合に採用された5名の新人消防士です。兵庫県消防学校で半年間の厳しい教育訓練を修了し、10月から各消防署に配属されました。

地域住民の安全・安心を守るために、一日でも早く住民の皆様から信頼される消防士になれるようがんばりますので、よろしくをお願いします。



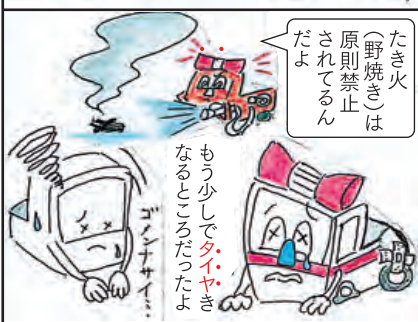
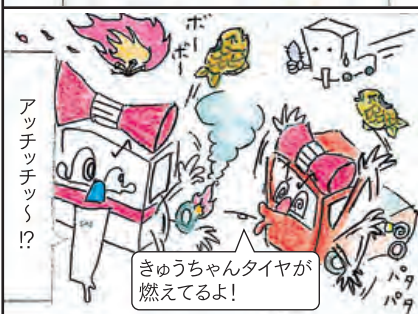
- 右から
- 城谷 侑斗 (加東消防署勤務)
- 大谷 悠真 (加東消防署勤務)
- 菅野 将史 (多可消防署勤務)
- 山本 健太 (加西消防署勤務)
- 福井 航平 (西脇消防署勤務)

がんばれ!
しょうちゃん・きゅうちゃん

その4



たき火の巻



野焼き(あぜ焼き・たき火など)を行うときは、細心の注意を払いましょう!



北はりま消防本部
ホームページは
こちらまで!



わが家の 消防士



「将来は消防士に
なりたい!」

左から
おかもと たくま 拓真くん
岡本 たかひろ 高裕くん
やすにし 安西 まお 茉桜ちゃん
板谷 いただに まお 茉莉ちゃん
にしかわ りお 莉央ちゃん
(加東市)



「元気に強くたくましく
育ってね!」

おおとみ たもん 太聞くん
(加東市)



わが家の
消防士

大募集!!

あなたのお子様も消防士や救命士になって
写真を撮ってみませんか?

北はりま消防本部には約100~120センチ
サイズの活動服や救命士服があります。
気軽にお問い合わせください。



お問合せ先

警防部警防課 (平日 9:00~17:00)

電話:0795-48-3072 ※(平成30年3月31日まで)

E-mail:fd_keibo@kitaharima119.net



東条出張所の近くを通られた際は、暖かく見守っていただければ幸いです。

消防ポンプ自動車を
愛して8年